

橋梁技術発表会 及び 講演会

開催概要

日時	令和8年11月17日(火) 14:00~17:15
会場	仙台国際センター(展示棟) 宮城県仙台市青葉区青葉山
申込	https://www.jasbc.or.jp/ ※申込はWebサイトのみです。
申込受付期間	9月17日~11月10日
継続教育	—
資料	会場では配布いたしません。必要に応じて Webサイトより出力し持参願います。 11月10日掲載予定

《開催日一覧》		
地区	開催日	申込締切
東京地区	10/02(金)	09/25(金)
大阪地区	10/16(金)	10/09(金)
北海道地区	10/23(金)	10/16(金)
中部地区	11/06(金)	10/30(金)
東北地区	11/17(火)	11/10(火)
九州地区	11/27(金)	11/20(金)
(6地区開催ですが発表テーマは異なります)		



開会 14:00~14:05

開会の辞

(一社)日本橋梁建設協会
会長 川田 忠裕

技術発表(1)

床版小委員会

14:05~14:40

床版取替え施工時における鋼桁補強
～ 鋼桁補強の種類や施工事例 ～

技術発表(2)

DX推進小委員会

14:40~15:15

鋼橋におけるDXの取り組み

～ 鋼橋事業の生産性・安全性の向上 ～

15:15~15:25

休憩

技術発表(3)

海外事業委員会②

15:25~16:00

ガーナ国 テマ高架橋 工事報告

～ 本邦技術を活用した質の高いインフラ供給で、ガーナ国の交通渋滞解消に貢献 ～

16:00~16:10

休憩

第二部
特別講演

16:10~17:10

道路橋示方書の改定と維持管理業務に
求められる技術力国土技術政策総合研究所
道路構造物研究部
橋梁研究室長 岡田 太賀雄

閉会 17:10~17:15

閉会の辞

橋梁技術発表会 実行小委員会
委員長 本田 政樹

発表概要

【技術発表(1)】

(一社)日本橋梁建設協会では、床版取替え工法の種類・特徴・留意点および高耐久化対策を体系的に整理した技術資料として「床版取替え施工の手引き」を発行していますが、鋼橋の床版取替えにおいては、活荷重などの設計条件の変更、合成構造から非合成構造への構造形式の変更、施工時の重機の載荷などに対して鋼桁の補強が必要となります。このため、床版取替えに伴う「鋼桁補強」に焦点を当て、作業手順、工程、留意事項を分かりやすく整理し、あわせて、代表的な補強工法について実施工の報告に基づいた事例を掲載した「床版取替え施工の手引き補足資料 一床版取替え時の鋼桁補強と施工事例」を発刊しました。本発表では、この補足資料に基づき、床版取替え施工時における鋼桁補強の種類や施工事例について説明します。

【技術発表(2)】

建設業は他産業に比べ労働生産性が低く、就業者に占める若年層比率の低下と人手不足が進行するなか、業務効率化と働き方改革が喫緊の課題となっています。本発表は、こうした社会情勢を踏まえ、国土交通省が進めるi-Constructionに呼応し、業務DXの実装を通じて、鋼橋事業の生産性・安全性を高める施策と今後の道筋を示すものです。

一般社団法人日本橋梁建設協会では、鋼橋事業におけるi-Constructionの取り組みを「i-Bridge」と称し、ICT活用技術の普及・推進に取り組んでいます。本発表では、その活動内容を、測量・設計・製作・施工・検査・維持管理の各業務ステップに沿って事例を紹介します。併せて、2023年度から原則適用となったBIM/CIMの設計・製作・現地工事における運用状況、ならびに鋼橋上部工における「鋼橋のデータ連携」の取り組み内容、最新の動向、今後の展望について報告します。

【技術発表(3)】

本橋は、ガーナ共和国テマ市に位置し、西アフリカ海岸都市を結ぶ「ラゴス・アビジャン回廊」と、テマ港から内陸国への貨物輸送を担う「東部回廊」が交差する地点に建設された高架橋です。経済発展に伴う交通量の増大により慢性的な渋滞が問題となっていました。本橋の開通により円滑な物流網の構築が可能となりました。

橋長142.3mの鋼少数鉄桁橋で、門型鋼製橋脚と上下部剛結構造を採用しています。下部工には深礎杭工法を採用し、大型重機の導入を不要とすることで、都市部の既存交通を確保しながら施工しました。また、塗膜下耐食鋼(EXPAL)を海外で初めて採用しています。アプローチ部には最大壁高約10mの補強土壁工法を採用し、経済性と施工性を両立させています。プロジェクト延長は約1.8kmで、2025年2月に完成しました。本発表では、テマ高架橋の設計、製作および現地架設に関する一連の取り組みを報告します。

主催:

一般
社団法人日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association Inc.<https://www.jasbc.or.jp/>